

京都教区時報

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

4頁 アジア体験学習

8頁 教会学校アンケート

発行 京都司教区

責任者 村上透磨

京都市中京区河原町

三条上ル

カトリック会館

FAX

075-211-3041

「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)

ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。

TEL・FAX 0794-31-8601



(写真はフィリピンでのアジア体験学習の一場面です)

キリスト者の生き方

私たちがイエスの福音を生きるためにどのようにしたらよいのでしょうか。私たちは毎日の生活を問いかけて必要があります。回心による自己刷新を続けていくことが求められます。

す。

従来からあるものがすべてだめということではありません。従来からあるものをよく見極めた上で見直しを続けていく必要があります。

見直しとは今までのことを評価し、次に実行するべきことを決めることがあります。評価することなしに、従来のものを否定することはゆるされません。評価した上で続けるべきものと、改めるべきものとを区別することが大切です。

自己刷新とはすべてを改めることではないのです。続けるべきと評価したものは保ちながら、改めるべきものは改めるのです。私はちは信仰による応答を続けながら生涯を歩み続けるのです。

12
2001

奈良南部ブロック

共同宣教司牧チームによる サマー・キャンプ

大和八木教会 佐藤 蓉子

八月四、五日の土、日曜日、奈良南部ブロックの御所、西大和、大和高田、大和八木四教会合同で、日曜学校の子どもたち、スタッフたちが御所教委虹の家でサマー・キャンプを行いました。その一日目の昼食のことです。

子どもたちを三つのグループに分けて、第一テーブルは「完全なメニュー」、第二テーブルは「デザートなしメニュー」、第三テーブルは「こはんに塩だけのメニュー」



と、それぞれ座つてお祈りをして食べるというプランでした。さつそく第三グループから「最悪」という文句が出ました。そこですぐにその時、どうしたらよいかと他のグループに問うと、第一グループのみんなが「分けてあげたい」と言い出して、本当の分かち合いをしての昼食になりました。

今回のサマー・キャンプは、一教会だけでは参加の子どもたちは少ないし、スタッフも十分な計画を立てての昼食になりました。

参加者は、小学一年生から中学一年生までの子ども十三名、スタッフ七名で、フィリピン人、アメリカ人、日本人と一緒に寝食を共にしました。四日午後一時、八木教会に集合し、二時には虹の家に集まり、日程表に従い、オリエンテーション後、夕食は庭でバーベキュー、交流会、花火遊び、入浴、就寝と第一日を終わりました。

立てることは難しいということ、奈良南部の共同宣教司牧のブロックで一緒に行おうということになりました。

春の一日黙想会での話し合いをきっかけとして、スタッフが何度か集まつて計画を立てました。スタッフは、アメリカ人とフィリピン人のお母さん、フィリピン人とカナダ人のシスター、そして私はみんなが「分けてあげたい」と言い出でて、本当の分かち合いをしての昼食になりました。そして昼食の時間が来たのです。私は多少の経験はあります。実際にこの会議は英語で進められたのですが、それでも聴いたり、話したり、ついて行くのがなかなか大変でした。おかげでとてもユニークな、楽しい集まりになり、最初に述べた「食事の体験」企画も生まれました。こちらには、フィリピン、アメリカ、ベルーナなどの滞日外国人の家族の方々がたくさんいらっしゃるのです。

参加者は、小学一年生から中学一年生までの子ども十三名、スタッフ七名で、フィリピン人、アメリカ人、日本人と一緒に寝食を共にしました。四日午後一時、八木教会に集合し、二時には虹の家に集まり、日程表に従い、オリエンテーション後、夕食は庭でバーベキュー、交流会、花火遊び、入浴、就寝と第一日を終わりました。

「子どもたちを主体にして」のプラン作り、実行、反省と次回へ向けての歩みが始まっています。

二日目、朝食後タロク神父さまから子どもたちへ「ミサ」についてのガイダンスがあり、続いて御所教会でミサに与り、その後、神父様から「家族」についての講話がありました。内容は、その日の聖書から取り上げられ、小さな人々の存在や、富を独り占めにすることの問題にも触れ、子どもたちは熱心に聞き入りました。そして昼食の時間が来ました。スタッフの「食事の体験」の計画と、神父様の講話の内容が重なったのは偶然ですが、とても意義深いものになりました。プログラムの終わりに子どもたちの反省会を持ち、率直で真剣な意見がたくさん出ました。また子どもたちからは「知らない友だちと出会って仲良くなれたか」の質問に目を輝かせての「うん、できたよ」の答えが返ってきました。私たちスタッフも当初少しの不安と期待が入り混じたサマー・キャンプでしたが、子どもたちが庭やトランポリンなどで思いきり身体を動かして汗を流し、大きな声で遊んでいる姿を見て、不安は一気に解消しました。

教区司祭修道士合同研修会

宣教をどう考えていいか

大阪大司教区 小田武彦神父

教団・司祭修道士合同研修会が、八月二十七日（二十九日、西陣教會で行われ、小田武彦師の講演が行われました。その内容の要点を紹介します。

1. 第二バチカン公会議以前

「宣教」とは次のように理解

1)キリスト教を盛大して、他の諸
されていた。

宗教を消滅させること（教会の外に救いなし）。

(2) 教会の数的な拡張を目指すこと
(世界中の人々に洗礼を授ける)

(十号口のハハに海花を抱いてのこと)。

(3) 欧米以外の地域に教会の地理的な拡大を目指すこと。

さらに、

(5) 東洋及び第三世界に西欧キリスト教の福音を傳へること。

2. 第二バチカン公会議 ト教の祝福を受けること

「宣教」は次のように理解されることになった。

(1) キリスト教以外の諸宗教も神の

- ・高森草庵、秋川神冥窟創設
 - ・靖国法案反対、地鎮祭違憲などの書面提出
 - ・カリタス・ジャパン、いのちの電話、MAC、難民引き受け、日雇い労働者への炊き出しなどの活動開始
 - ・司教団「日本の教会の基本方針と優先課題」発表
 - ・日本の社会や文化の中に、多くの人々を弱い立場に追いやり、抑圧、差別している現実もある。
 - ・(日本カトリック司教団)
 - ・教会の全員が、まず福音の力によって日本の社会のすべての営みを、内部から新たにしていくことが必要である。(機構改革検討特別委員会)
 - ・第一回福音宣教推進全国会議を京都で開催、課題「開かれた教会をめざして」、司教団「ともに喜びをもって生きよう」を発表
 - ・第二回福音宣教推進全国会議を長崎で開催、課題「家庭の現実から福音宣教のあり方を探る」、司教団「家庭と宣教」発表
 - ・聖書朗読に新共同訳使用、「手話によるミサ式次第」、
 - ・非差別部落解放のための法律制定・靖国公式参拝反対・外国人登録法・天皇の即位の儀式に関する要望書を提出
 - ・日本の教会の戦争責任を表明
 - ・核兵器廃絶アピール発表
 - ・韓国と日本の司教協議会会長が日韓教科書問題で協議
 - ・司教団文書『いのちへのまなざし』発行
 - 5. 大阪教区が目指す新生教会像
 - ・「谷間」に置かれた人々の心を生きる教会
 - ・「交わり」の教会
 - ・「共同責任」を担い合い、共働くする教会
 - ・聖霊の導きを識別しながらともに歩む教会
 - ・信徒の役割と責任を前面に出す教会
 - 6. 信徒の宣教
 - ・キリスト者個人、あるいはグループが、社会の中で周囲の人々と運命を分かち合い、一致協力し、この世の価値を超える精神的な善に対する信仰と、目に見えないものに対する希望に生きるとき、あかしとなるのです。(『福音宣教』)

カトリック青年アジア体験学習

変えられた自分に気づく

◆「見て、理解し、変えられる」

来年で、二十二年目をむかえるカトリック青年アジア体験学習では、フィリピンはルソン島にあるインファンタという街で、ホームステイや農作業の体験、フィリピ

ンの歴史や文化、そして地域発展の為の講話、また現地の若者達との交流などのプログラムを、毎年夏に行ってまいりました。

このアジア体験学習では、特に「見ること」「理解すること」を大切にしています。参加者の皆さん

がフィリピンでの生活の現実を見ること、その貧しさの体験を通じて、人々とその状況を理解するため、フィリピンでのプログラムを用意してまいりました。

そして、最終的には参加者の皆さん一人ひとりが「変えられていくこと」。行く前と行った後とは、同じ生活中にありながら、違った私になっていること。これが体験学習の目的です。

"Not only to look but also SEE, not only to hear but also

LISTEN, not only to know but also FEEL, and finally get involved to CHANGE!"

(フィリピンのスタッフの言葉より)

◆変えられた自分に気づく

このアジア体験学習の参加者のはとんどが大学生です。日本社会の物質的な繁栄と、その価値観の中で育ったとはいえ、感受性豊かな

このアジア体験学習では、特に「見ること」「理解すること」を大切にしています。参加者の皆さん影響は小さくないでしょう。多くの青年たちがその後、フィリピンに「はまり」、再び体験学習に参加したり、個人旅行を繰り返してくれる人もいます。

また、この体験学習をきっかけに、世界に目が開かれ、青年海外協力隊や信徒宣教者会の活動を行っている人もいます。

しかし、一方では、せっかくの体験がその場限りになってしまう場合もあります。その大きな要因は、

「変えられた自分」に気づかないことがあります。人によつて違いはあるかもしませんが、参加することによって、何かしらの影響を受け、行く前と行った後とではやはり、違った私になつているのです。「変えられた自分に気づいていく」。一人ひとりに個人差があるとはいえ、もう二十年以上続いているわけですから、何かしら参加された皆さんへ、そのためのフォローが必要であることはいうまでもありません。そのことをこの約二十年の歩みの中で痛感し、そのための新しい取り組み時期にフィリピンでの生活の現実を「見て、理解すること」による影響は小さくないでしょう。

◆交流と分かち合いのために
参加者のフィリピンでの熱い体験も、日本での日常生活の中で埋没していくがちです。しかし、年

代や年次は違つても、同じフィリピンでの体験を分かち合うことによって、「変えられた自分」に気づくきっかけができるのではないかでしょうか。



アジア体験学習実行委員会

（京都教区のホームページから）
青年センターへ、そしてアジア体験学習のページへリンクする予定です。

（京都教区のホームページから）
ホーメンページを通して、参加者同士のコミュニケーションをはかり、交流と分かち合いを通して自らの体験をより有意義なものにしていただけたらと願っています。

聖書講座シリーズ「はじめと終り」9／19・20 神の民と異邦の民 市瀬英昭 神父

「生きる」ということ

生きるということには二つの大きな区別があると言われています。一つは生きているという状態、もう一つは生きていくという活動です。そして生きていく活動は3つに区別され、一つは「たくましく生きていく」という次元。二つ目は「うまく生きていく」という次元。三つ目に「よく生きていく」

示唆され、自身が納得できたら生きぬいていける、喜びをもって生きていけると感じられるよう教会、聖書、典礼が関わっていくことが教会の大きな仕事だと思います。

聖書を読む、聞くについて

旧約聖書には論証形式、勧告形式、物語形式の三つのパターンがあると言われています。申命記二十六章は何かを物語っています。この物語形式が聖書の中心にあります。救いの歴史が物語られる部分があって、そこから勧告、論証がでてくるのです。これらを区別して、関連づけて理解していくことが大切なことです。新約聖書でも同様のことが言えます。イエス・キリストを物語っている箇所が大事で、その救いの出来事から全聖書を読んでいくということです。

また、人間が生きていくのに必要な事、物があると言われます。それは英語で「H」で始まる単語、1 「Head」、2 「Hand」、3 「Heart」、4 「Hope」の四つです。特に四つ目の「Hope」は希望と訳されますが、この「Hope」という言葉に私達の「生きる」ということへの方向性、意味づけが

ルカ福音書四章

まず、四福音書でイエスが公生活に入られた時の最初の言葉を見てみましょう。マタイとマルコは

同じです。「天の国は近づいた。悔い改めて福音を信じよ」。ヨハ

ネ福音書は「何を求めているか」という言葉をイエスの最初の言葉としました。ルカ福音書は四章二十一節の、「今日あなた方が耳にしたことが実現した」という言葉をイエスの公生活の最初の言葉としています。ここにイエスの宣教

していません。そこにはイエスの宣教の覚悟が見えます。そして、神の

民と異邦の民とを区別することに

して、イエスがどのように理解されていましたのかということをこの箇

所は明確にしていると思います。そのポイントは二つあります。一

つは二十一節で「今日あなた方が耳にしたことが実現した」という

新しい宣言。もう一つは預言者イ

ザヤ書六十一章の朗誦の仕方です。

イエスは神は復讐の神ではない、

恵みの神であるということを強調

し、イエス自身の覚悟が表わされ

ていることです。

聖書には私達の常識や区別をこ

える別の考え方を提示されるなど驚きがあります。そのような新し

さと向き合い、対話や対決しなが

ら、これを繰り返す中で結果とし

て新しい自分が生まれてくるとい

うこと、それが生きるということ

に繋がっているのです。

想起すること

聖書が言っているのは「想起せよ」という一言だとアブラハム・

ヘンシェルは言っています。「想起」とは思い出せ、忘れるな、記憶せよということです。例えば、

出エジプト記のような状況を思い出し、力にしていくことが想起するということです。想起するとい

う作業は生きぬいていくための力になるのです。聖書を読むのもそ

うです。イエス・キリストの生涯、

言葉、出来事全体を思い出し、そ

れを私達の問題、全ての人の問題

と自覚し、そこに力をもって生

きしていくのが信仰だと思います。

自動的にはそれはこの世の中にお

いては難しいことです。それ故、

思い出す、信ずる、愛するという

ことは想起するということと同義

語と言われるのです。聖書を読みながら、典礼の中で実際に生身で

参加しながらイエスの新しい生き方を学んでいくことが大切なこと

なのです。

この理解は単に知的な理解ではなく、私達の信仰生活を活性化し

私達の生活が聖書の言葉でいう世の光、地の塩となっていくことで示されるのだと思います。



感謝

この一年の歩み

カトリック 福音センター ニュース



今年センター養成コースとして大切にしてきたことは、福音（よろこばしい知らせ）を自分のものから、共同体のもの、そして近隣へと分かちあっていけるようなとりくみへの歩みでした。

そのため、今年の教会の典礼朗読であるルカの福音書を基本に、その中でイエスが弟子たちをどのように福音宣教へと育てていかれたかを学び味わってきました。

これは小教区に出かけていく出前コースとして、集会祭儀のチーム作り、聖書に親しみ生活に根ざした福音の読み方、分かち合い方を学び体験する中で、又病人との援助のかかわりを心するコースで、又自分を知り親しい深い祈りの体験コースで、典礼の本質を見直すコースでと、いろいろな角度から実施してきました。

この一年、みなさまから様々な形で御支援いただき、活動できましたことを心から感謝いたします。

新養成コース案内

自己発見から神への旅

- ①2月9日(土)～10日(日)　自己への気づきを育てる
- ②3月9日(土)～10日(日)　神の約束は必ず実現する
(マタイ福音書が語るキリスト)

場所：大津市唐崎　ノートルダム祈りの家

定員：15名

問い合わせ・申込先

〒・住所・氏名・電話番号をご記入の上、

参加費 12,000円 をそえて下記へお送り下さい。

郵便振替口座の場合 14460-27065111 カトリックきょうと福音センター
カトリック福音センター

〒604-8855 京都市中京区壬生淵田町26 西院カトリック会館内

電話番号 075-822-7123 FAX 075-822-7020

Eメール fukuin-c@theia.ocn.ne.jp



クリスマス 希望の贈物

^{ことば}
『言は肉となって、わたしたちの間に宿られた』(ヨハネ1・14)

この言葉は短いのですが、イエスの弟子ヨハネがそれを通して、初代教会の信仰体験を表しています。また、今月わたしたちがお祝いするキリストの降誕を短く述べる言葉です。

言は肉となりました。ヨハネは簡単に、神は人となったと言うことができましたが、それをわざわざこのように表現したのです。言は肉となりました。ヨハネの用いる「肉」という言葉は、罪を犯す人間、そのもろさ、はかなさ、弱さを意味しています。神の子はわたしたち一人ひとりの癒しのためにもろい存在、肉となりました。「神は、独り子を世にお遣わしになりました……ここに神の愛が私たちの内に示されました」。

(一ヨハネ4・9)

クリスマスには、この神の人間に対する優しさや愛、連帯感が実現します。パウロはキリストのわたしたちに対する働きを次のように言います。

「あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです」。

(二コリント8・9)

人類の痛みと罪を負ったキリストとが結びつく時、肉にすぎないわたしたちの生活に変化がおこります。

クリスマスはまさに、人類に対する神の救いの宣言です。「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった」。

(ルカ2・11)

暴力に暴力で勝とうとするわたしたちの世界に、ベツレヘムで生まれ、布に包まって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子イエスは平和を訴えます。絶望に打ちひしがれているわたしたちの時代に希望の贈物を与えてくださるのであります。肉となった神の子は、死よりいのち、憎しみより愛、呪いより祝福を示してくださいます。そういう意味ではクリスマスは神の希望の贈物です。

今月のことば

「暗闇に住む民は大きな光を見、
死の陰の地に住む者に光が射し込んだ」
(マタイ 4:16)



教会学校についてのアンケート

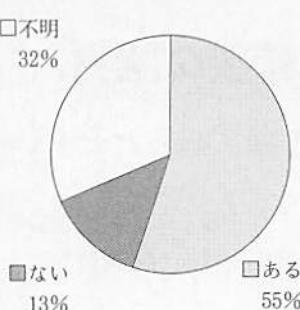
四一教会のうち二三教会に教会学校

信仰教育委員会

教区内の教会学校のようすを知るために、六〇教会にアンケートをお願いしたところ、四一教会から回答をいただきました。

(指定のない数字は教会数です。また、主要回答にとどめたり、複数回答もありますので、数字の合計は回答教会総数と合いません)

1、教会学校がありますか



- 就学前 一〇七名
- 小学生 四六八名
- 中学生 一〇五名
- 高校生 七五名

3、授業の時間

- 土曜午後 二
- 日曜ミサ前 八
- 曜ミサ後 二三

4、授業時間

十五分～一時間半平均五十分

5、近隣の教会との合同の活動

- キャンプ・合宿 一四
- 大聖年子供ミサ 三
- ゆるしの秘跡 二
- 聖体行列 二

- 春の鍊成会、担当者会議、家族の集い、お花見、クリスマス各一
- 合同の活動のない教会 七

10、中心においているもの

- リーダーの人数(総人數) 洗礼準備、默想会、司祭の話、クリスマス劇の練習、ボスター作り、作文、遠足、絵本、紙芝居、ゲーム、募金活動、老人ホーム訪問、など

14、感じていること・問題点

- 子供が少ないと感じていますか

- 行われている教会の一年間の平均回数は、約二・五回

- 初聖体クラス
- リーダーの任期を決めている教会 三 そのうち 一～二年が二教会、子供が小学校を卒業するまでが一教会
- カリキュラムの内容
- 聖書、要理、祈り、歌、ミサ当番、ゆるしの秘跡、初聖体、洗礼準備、默想会、司祭の話、クリスマス劇の練習、ボスター作り、作文、遠足、絵本、紙芝居、ゲーム、募金活動、老人ホーム訪問、など

13、子供とともに捧げるミサが行われていますか

- 行われている教会の一年間の平均回数は、約二・五回
- 感じていること・問題点
- 子供が少ないと感じていますか
- 行われている教会の一年間の平均回数は、約二・五回

7、均年齢 四二・七歳
7、クラス分け 小学生は、二～三にクラス分け。各学年毎クラスもある。

8、中学生クラス、あるいは中高生クラス

9、「あゆみ」

10、「こじか」

11、「聖書関係

12、「初聖体テキスト

13、「カリキュラム

14、「リーダーの年齢

15、「家庭での教育

16、「親の協力と理解

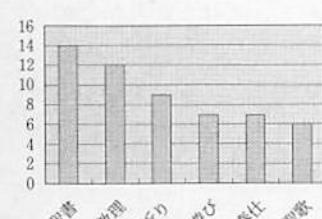
17、「一般信徒の協力

18、「聖職者の指導

19、「共同宣教司牧の視点

- 2、生徒の人数(三三教会合計) 信徒六八一名平均二〇・六名
- 3、信徒外四名平均二・二名
- 4、滞日外国人のいる教会六、その合計生徒数 三五名

- 5、リーダーの年齢 五九名
- 6、リーダーの年齢 十代から六十歳以上まで、平



- 7、年齢階層別(三三教会合計) 二十代から六十歳以上まで、平

ここにちはシスター

イエスの小さい姉妹の友愛会

(写真右から)

Sr フランシスカ・富美子

Sr サビナ・久美子

Sr ヴェロニカ・恵子



に倣っています。

世界中で姉妹たちは一三五〇名で六十五カ国の国籍です。日本人、南アメリカ、アフghanistan、イスラエル、アラスカ、フランス、韓国等に、他の国の姉妹達と共に奉獻しています。

京都では、お寺の縁日に、手作

りジャム、葉草等を出して沢山の人々に混じってそこに存在してい

ます。又、時にお祭りの日に露天商の人に雇われてその労苦と共に

します。又週二回のお掃除の仕事、神父さまの身の回りのお手伝いを

しています。

ある露天商の方が「キリストのおばちゃんが、わたしらのところまで来てくれたんか」といいました。こんなよろこびもいただいています。

創立者は云っています。「民衆のさ中に練り粉の中のパン種のように入り混じりなさい」と。

人々の出会いの中で主による友情が深まって行きますように!

その陰には沢山の人々の支え、祈つて下さる方、時間を提供して下さる方、薬草を集めて下さる方…があります。どうかベツレヘムの児のよろこびと平和がこの世界にて始められました。

わたしたちの生活は「ナザレトの人々の中で労働なさったイエス」

福祉の窓

神の園

介護老人福祉施設
(旧称: 特別養護老人ホーム)

ホーム

関西文化学術研究都市の中心地京都府相楽郡精華町にあり、町役場の最寄で景観のよい北畠八間区の丘陵地、カトリック精華教会・精華聖マリア幼稚園や近鉄京都線の新祝園(急行停車駅・JR祝園駅から徒歩約二十分)の距離に位置しています。

一九七二年(約三十年前)、メリノール宣教会の故レオ・スタイルンバッケ師のご尽力によつて在宅介護が困難な高齢者の幸せを願つて開設、三位一体の神様に捧げられた老人福祉施設です(開設当時は定員五十名、現在は八十名)。

二〇〇〇年開始の介護保険制度下で実施の介護事業活動は、①特養施設介護サービス
②短期入所生活介護(ショートステイ)

☆施設建設替え!
介護保険の新時代を迎えて、今まで以上の生活居住環境の充実が強力に求められています。開設後三十年目の特養ホーム老朽化と大部屋解消改善対策新築移転準備の作業を急ピッチで進めています。

⑤通所介護(デイサービス)
⑥訪問入浴介護(移動入浴車による)

⑦神の園医务室診療所(施設内)
⑧併設ケアハウス
以上八つの事業です。この事業活動を通して高齢者生活支援への地域貢献と交流を推進しています。

介護相談はいつでもどうぞ!
連絡先 0774(94)4125



- ④居宅介護支援
- ③在宅介護支援センター(標準型)
- ②短期入所生活介護(ショートステイ)
- ①特養施設介護サービス

お
知
ら
せ

教区委員会から

- ◆京都南部カトリック協議会から
プロック合同堅信式2日(日)西陣教会
- ◆地区カトリック協議会から
西陣教会、信睦二金会 第二金曜日10時15分

小教区から

- ◆安曇川教会▼クリスマスの集い
16日(日) 17時
- ◆大津教会▼クリスマスキヤロル
23日(日) 18時教会出発、パルコ前、膳所ハイツ、膳所駅前
- ◆コリアンセンター▼待降節の黙想会
2日(日) 10時~15時半 場所京都コリアンカトリックセンター
- ◆コリアンセンター▼巡礼の聖母教育文化センター
12月はお休みです。▼聖書講座
12月(金) 9時半~10時半

青年センターから

- ◆ワールド・ユース・ディ2000
2トロント大会 日程 2000年7月21日(日)~8月1日(木)12日間 参加資格 年齢 18歳(高校生を除く)~35歳まで 費用 申込金 七千円、概算旅行代金約二十五万円 申込み・問合せ 青年センターまで

教育関係施設から

- ◆聖母教育文化センター▼巡礼の聖母教育文化センター
毎週日曜日、PM 3:00 フランシスコの家 每週水曜日、PM 3:00 西舞鶴教会 第1日曜日、PM 3:00 草津教会 第4日曜日、PM 2:00 奈良教会 最終日曜日、PM 3:00 大和八木教会 第3日曜日、PM 2:00 大和郡山教会 每週水曜日、PM 3:30 津教会 第2日曜日、PM 2:00 四日市教会 第3日曜日、PM 1:00 鈴鹿教会 第4日曜日、PM 2:00 亀山教会 第2日曜日、AM 9:00

- ◆西院教会 ~PAG-ASA COMMUNITY Every Sun. 3 p.m. フランシスコの家 每週水曜日、PM 3:00 西舞鶴教会 第1日曜日、PM 3:00 草津教会 第4日曜日、PM 2:00 奈良教会 最終日曜日、PM 3:00 大和八木教会 第3日曜日、PM 2:00 大和郡山教会 每週水曜日、PM 3:30 津教会 第2日曜日、PM 2:00 四日市教会 第3日曜日、PM 1:00 鈴鹿教会 第4日曜日、PM 2:00 亀山教会 第2日曜日、AM 9:00
- ◆西院教会 ~PAG-ASA COMMUNITY Every Sun. 3 p.m. フランシスコの家 每週水曜日、PM 3:00 西舞鶴教会 第1日曜日、PM 3:00 草津教会 第4日曜日、PM 2:00 奈良教会 最終日曜日、PM 3:00 大和八木教会 第3日曜日、PM 2:00 大和郡山教会 每週水曜日、PM 3:30 津教会 第2日曜日、PM 2:00 四日市教会 第3日曜日、PM 1:00 鈴鹿教会 第4日曜日、PM 2:00 亀山教会 第2日曜日、AM 9:00
- ◆西院教会 ~PAG-ASA COMMUNITY Every Sun. 3 p.m. フランシスコの家 每週水曜日、PM 3:00 西舞鶴教会 第1日曜日、PM 3:00 草津教会 第4日曜日、PM 2:00 奈良教会 最終日曜日、PM 3:00 大和八木教会 第3日曜日、PM 2:00 大和郡山教会 每週水曜日、PM 3:30 津教会 第2日曜日、PM 2:00 四日市教会 第3日曜日、PM 1:00 鈴鹿教会 第4日曜日、PM 2:00 亀山教会 第2日曜日、AM 9:00

- 英語ミサ (ENGLISH)
 - SAIIN CHURCH 西院教会 ~PAG-ASA COMMUNITY Every Sun. 3 p.m.
 - FRANCISCAN HOUSE フランシスコの家 每週水曜日、PM 3:00
 - NISHI MAIZURU CHURCH 西舞鶴教会 第1日曜日、PM 3:00
 - KUSATSU CHURCH 草津教会 第4日曜日、PM 2:00
 - Every Fourth Sun. 2 p.m. 奈良教会 最終日曜日、PM 3:00
 - YAGI CHURCH 大和八木教会 第3日曜日、PM 2:00
 - Every Third Sun. 2 p.m. 大和郡山教会 每週水曜日、PM 3:30
 - KORIYAMA CHURCH 四日市教会 第2日曜日、PM 2:00
 - Every Wed. 3.30 p.m. 奈良教会 第3日曜日、PM 1:00
 - TSU CHURCH 亀山教会 第4日曜日、PM 2:00
 - Every Second Sun. 2 p.m. 四日市教会 第3日曜日、PM 1:00
 - YOKKAICHI CHURCH 鈴鹿教会 第4日曜日、PM 2:00
 - Every Third Sun. 1 p.m. 亀山教会 第2日曜日、AM 9:00
 - SUZUKA CHURCH 亀山教会 第2日曜日、AM 9:00
 - KAMEYAMA CHURCH 亀山教会 第2日曜日、AM 9:00
 - Every Second Sun. 9 a.m. 亀山教会 第2日曜日、AM 9:00

- 韓国語ミサ (한국어 미사)
京都コリアン・カトリックセンター
第1日曜日 午前10時

- スペイン語ミサ (ESPAÑOL)
 - Iglesia de FUSHIMI 伏見教会 Segundo Domingo del mes 2 p.m. 第2日曜日、PM 2:00

- Iglesia de KUSATSU 草津教会 Tercer Domingo del mes 2.30 p.m. 第3日曜日、PM 2:30
- Iglesia de NAGAHAMA 長浜教会 Cuarto Domingo del mes 2 p.m. 第4日曜日、PM 2:00
- Iglesia de SUZUKA 鈴鹿教会 Segundo y Tercer Domingo del mes 2 p.m. 第2・3日曜日、PM 2:00
- Iglesia de KAMEYAMA 亀山教会 Cuarto Domingo del mes 9 a.m. 第4日曜日、AM 9:00
- Iglesia de TSU 津教会 Cuarto Domingo del mes 2 p.m. 第4日曜日、PM 2:00
- Iglesia de YAGI 大和八木教会 Primer Domingo del mes 2 p.m. 第1日曜日、PM 2:00
- Iglesia de NISHI YAMATO 西大和教会 Segundo Domingo del mes 3 p.m. 第2日曜日、PM 3:00
- Iglesia de YOKKAICHI 四日市教会 Cuarto Domingo del mes 12 a.m. 第4日曜日、AM 12:00
- Iglesia de UENO 上野教会 Tercer Sabado del mes 7.30 p.m. 第3土曜日、PM 7:30

ポルトガル語ミサ (PORTUGUES)

- Igreja paroquial do KUSATSU 草津教会 Segundo Domingo do mes 3 p.m. 第2日曜日、PM 3:00
- Igreja paroquial do YOKKAICHI 四日市教会 Primer Segundo Domingo do mes 4 p.m. 第1・2日曜日、PM 4:00
- Igreja paroquial do SUZUKA 鈴鹿教会 Todos los Domingos do mes 6 p.m. 每週日曜日、PM 6:00
- Igreja paroquial do KAMEYAMA 亀山教会 Primer Domingo do mes 9 a.m. 第1日曜日、AM 9:00

半場所 聖母女学院短期大学
多目的教室無料▼以上お問い合わせ
せは聖母教育文化センター075
(643) 23320

諸施設・諸活動から

- ◆ JOC▼集会第2木曜日、第4土曜日19時半～21時、京都働く人の家(九条教会前)フリーテーブルや、働く予定のある青年も歓迎します。
- 問合せ 岩崎祐二電話090-(8193)0808
- ◆ レジオ・マリエ▼コミッヂウム2日(日)13時引続き年次総会
- 14時半 河原町教会地下ホール
- ◆ カナの会▼結婚相談室開設2日(日)13時 河原町会館6階ホール
- ◆ 京都キリストン研究会▼懇親会9日(日)14時 河原町会館6階ホール
- ◆ 聖ビンセンシオ・ア・パウロ会▼河原町協議会9日(日)▼京都中央理事会定期例会23日(日)いずれも13時半 河原町教会
- ◆ 在世フランシスコ会▼京都兄弟会15日(土)13時半 フランシスコの家
- ◆ コーロチエレステ▼練習日第2、第4、第5木曜日10時～12時 河原町会館6階ホール
- ◆ 京都カトリック混声合唱団▼練習日(10月17日現在)

習日9日(日)14時 通常練習▼
創立10周年記念ミサ9日(日)16時 河原町大聖堂

良書紹介

★クリスマスには

◆『天使の楽器たちと共に奏でるクリスマス』IVチャヤリティコンサート9日(日)15時 場所 北白川教会「ノートルダム教育修道女会のネバールに於ける教育活動支援のため」前売2000円、当日売2500円 出演者 ソプラノ 東朝子 フルート 初田茂子 ハープ 山根ひろみ、オルガン 三森尚子 演奏曲目 バッハの宗教曲、アメイジンググレイスなど、他にクリスマス曲 問合せ先 TEL・FAX075(781)2049あずまで

◆『第四回『歌と祈りの集い』』15日(土)16時 場所 北白川教会テーマ「平和」 北白川教会の信者と山科教会の野木佳枝を中心に、待降節、降誕祭の歌をうたい、平和への祈りを深めます。曲目「ひさしくまちにし」「エマニュエル」、独唱曲、ヴァイオリン曲など 入場無料 主催 北白川教会協議会 問合せ TEL075(791)65556 小田まで

◆『サンタクロースって、いるんでしょうか?』遠藤周作著『イエスに選った女たち』講談社文庫 1990
◆『聖書に近づく』★聖書に近づく

『サンタクロースって、いるんでしょうか?』遠藤周作著『イエスに選った女たち』講談社文庫 1990
◆『聖書に近づく』★聖書に近づく

しかし私が言いたかったことは、聖書の女たちとイエスとの出来事は人間の夢や歎きや祈りがこもっているゆえに、古いユダヤの話だけでなく、今日の我々の話になりうると言うことなのだ。

あなたたちは自らの人生途上に何人の女とめぐりあわされたろう。その女(ひと)たちは聖書にでてくるマルタであり、マルタの妹のマリアでありヨハナやスザンナであり、ひょっとするとマグダラのマリアと同じなのである(「はじめに」より引用)。

朝日新聞「天声人語」より
「この世の中に、愛や人へのおもいやりや、まごころがあるのと同じようにサンタクロースもたしかにいるのです」(中略)
信頼、想像力、詩、愛、ロマンスだけが、目に見えないかがやかしいものを見せてくれるのだと、社説は少女に語りかける。みずみずしい筆致である。

数多くの名画を通して、現代の光をあて、昔を今に甦らせる感動のエッセイです。

税別四百九十五円
(一九七七年十二月二十四日付)

税別八百円

大塚司教の

12月のスケジュール

25日(火)主の降誕ミサ 10時半 原町教会

1日(土)小教区会計担当者説明会

14時 河原町教会地下ホール

2日(日)京都南部北ブロック合同

堅信式 西陣教会

4日(火)松阪教会司教座聖堂訪問

ミサ 11時

5日(水)中央協機構改革委員会 15時

6日(木)常任司教委員会 10時

8日(土)東チモールカトリック者

の会 15時半 教区本部事務局

9日(日)河原町教会典礼部50周年

ミサ 10時半 河原町教会

11日(火)~12日(水)司教社会問題研究会

13日(木)~14日(金)大阪管区教

20日(木)司教顧問会・責任役員会

10時 会議

21日(金)海星中高等学校クリスマスの集い 9時半

24日(月)市民クリスマス 19時半

河原町教会

主の降誕深夜ミサ 23時

河原町教会

お知らせ

◆司祭の移動(10月30日付)

P・バラスバス(スティーブ)師(京都南部地区北ブロック共同宣教司牧担当司祭)が退任、フィリピンに帰国されました。

青年センター専従者の募集

来春4月から、青年センター(西院カトリック会館内)にて教区の青少年のために専従者となつていただける方を募集中しております。

お志のある方は、青年センターまでご連絡をお願いします。

青年センター電話 075
(822) 6246

◆「お知らせ」の掲載について

お知らせに載せたい情報は、2月号でしたら12月18日までに、

3月号でしたら1月15日までに京都教区事務局内「京都教区時報」宛にお願いします。

トロント大会に向けて
ワールド・ユース・デイ2002

昨年の夏に参加したWYDローマ大会の旅から一年が経ちました。今、思い返しても内容の深い熱い旅立ちだったことを思い出します。

参加した仲間は、一人ひとり

が何かを求めて、あるいは誰かに会うために集まり、人生経験の豊かな人、そうでない人、信仰の深い人もいれば、そうでない人も、一緒に祈り、一緒に語り合い、イエス様を探し、いい

もの、悪いもの、わからないもの、不思議なもの、心を打つも

の、色々なものを見て感じたこ

とで、私自身もその経験が自分

の人生を豊かにしてくれたよう

に思います。旅の間では気付か

なくとも、帰ってから日々の生

活の中で自分を見つめ直すきっ

かけにもなっている今があります。言葉では言い表せないすばらしい体験を、次回のトロント

の大会でも多くの青年の方が感

じられますように。

(T・H)

今回の巡礼は私にとって、はじめてからおわりまで、同行され

た司教様をはじめ、共に旅をし

たメンバーの人柄に触れ、包ま

れるような暖かさを感じながら

の旅でした。又、旅の合間にたくさんのイベントもありました。

世界各地の青年達との交流もそ

の一つです。歌や踊りで互いの

文化を紹介し合うのですが、私

たちは浴衣やハッピを着て「炭

坑節」を歌い踊りました。私達

の踊りの輪は、会場全体を巻き

込んで大きな輪を生み出しまし

た。とても楽しい時間で国を越

えて一つになれた気がしました。

言葉や国や人種に関係なく人は

皆同じなのだ、そして私は一人

でなく沢山の人とつながっていました。

ると改めて感じました。

日常生活では得られない本当

に大切な体験を沢山する事が出来ました。この事は形に残った

事が出来れば、と思っています。

(Y・K)